

## 令和5年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 2月予報

### 【イチゴ】ハダニ類

局所的な発生が認められます。現在は発生が少ない場合でも、ハウス内は暖かいため増加の恐れがあります。低密度時は発生に気付きにくいので、葉の裏をよく観察し、発生量が増加する前に防除を行ってください。

### 【トマト】コナジラミ類

施設内に設置した粘着板への誘殺数は平年に比べ多く、すでに発生している施設では密度が増加しやすい状況です。施設内をよく見回り、除草と防除を徹底し、春先の増加を抑えましょう。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(2月)

作物	病害虫名	2月(予測)	発生状況及び今後の予測	1月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	多	調査ほ場の一部で発生が認められる。今後、気温は高く、降水量は平年並か多いと予測され、悪天候が続く場合は注意する。	多	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>灰色かび病</b> 枯死した花卉や果梗部、発病部位は見つけしだい除去し、被害の発生を防ぐ。</li> <li>・<b>ハダニ類</b> 古葉や果柄などを除去し、薬液が葉裏まで十分かかるよう丁寧に散布する。同一系統薬剤の連用は避ける。</li> </ul>
	うどんこ病	やや少	調査ほ場での発病は認められない。気温が発病適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	多	調査ほ場の一部で局所的な発生が認められる。今後、気温の上昇とともに発生が増加すると予測される。	やや多	
	コナジラミ類	やや多	調査ほ場の一部で発生が認められる。気温が発病適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	多	
トマト	灰色かび病	やや少	葉先枯れ等での発病は認められない。悪天候が続く場合はほ場内の湿度が高まるため、発病に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コナジラミ類</b> 厳寒期でもほ場内では低密度で生息しているため防除を徹底する。</li> </ul>
	コナジラミ類	多	調査ほ場では発生が平年に比べ多い。今後、気温の上昇とともに発生が増加すると予測される。	多	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場での発病は認められない。罹病性品種は発病に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>べと病・褐斑病</b> 過湿時には発病が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。</li> <li>・<b>アザミウマ類(ミナミキイロ)</b> 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。</li> </ul>
	うどんこ病	やや多	調査ほ場で発病が認められる。罹病性品種は発病に注意する。	多	
	べと病	少	調査ほ場での発病は認められない。悪天候が続く場合はほ場内の湿度が高まるため、罹病性品種では発病に注意する。	少	
	アザミウマ類	やや少	調査ほ場での発生は認められないが、今後、気温の上昇とともに、発生が増加すると予測される。	少	
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場での発生は認められないが、今後、気温の上昇とともに、発生が増加すると予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種 イチゴ:濃姫、美濃娘及び紅ほっぺ、トマト:りんか及びかかれん、キュウリ:ニーナ

### イチゴ ハダニ類

ハダニ類は、気温の上昇とともに生育スピードが速くなり、発生初期の防除を怠ると急激に増加します。下葉で増殖したハダニが、新葉の展開に伴い、上位葉に移動し加害すると、新葉にカスリ状の白い斑点が現れます。また、多発すると、株はハダニの吐く糸で覆われ、そのまま防除しないと、最後には枯死します。

低密度時には葉裏に生息し、カスリ症状も現れず、発生に気がつきにくいので、よく観察し、発生に注意してください。

また、ハダニ類の発生が確認されたら、葉裏に薬液がかかるよう丁寧に防除を行ってください。

天敵を導入したほ場では、防除を行う場合は、天敵に影響が少ない薬剤を使用してください。

### 数値データ (岐阜・西濃地域 1月調査)

イチゴ			
灰色かび病	(発病果率)	0.2	(0.0)
うどんこ病	(発病株率)	0	(0.0)
ハダニ類	(寄生株率)	22.0	(19.5)
コナジラミ類	(寄生株率)	0.7	(0.3)
トマト			
灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
〃	(発病株率)	0	(0.1)
コナジラミ類	(誘殺頭数)	5.4	(0.3)
キュウリ			
褐斑病	(発病葉率)	0	(0.0)
うどんこ病	(発病葉率)	0.3	(0.1)
べと病	(発病葉率)	0	(0.0)
アザミウマ類	(寄生頭数/100葉)	0	(1.1)
コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)

注1) イチゴ、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2) ( )内数値は平年値 果率、株率及び葉率は%

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査データ(1月1半旬~3半旬までの累計誘殺数)

### ＝施設栽培の病害虫について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

### ＝東海地方1か月予報＝

(名古屋地方気象台 1月25日発表)

向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年並か多い、日照時間は平年並か少ないと予想されます。平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。山間部では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸 729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所  
トップページ  
二次元バーコード